

こもれびの森 ウッドランドクラブ通信6月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2012年6月25日発行

栗原市字草木沢角間10-7 tel/fax 0228-56-2330

《スタッフの言葉》

小林職員・・・「例年がない残雪にあらためて森林科学館の立地条件を再認識、4月に入っても吹雪。でも自然の醍醐味をいつも体験させてくれる森林科学館はありがたい存在です。今年はどんな体験が待っていることや、胸おどる毎日です。」

山本職員・・・「4月中旬の陽気で一気に雪が溶け、それを待っていたかのようにミズバショウやフキノトウが顔を出し、やっと春が来たと思ったら今はもう初夏の花です。今年は園内の整備にも力を入れ、ご来場の皆さま癒しと憩いの場所にしたいと思っていますので是非、いらしてください」

及川職員・・・「生きもの観察コーナーを充実しました。現在はアリ地獄、イモリ、メダカ、モリアオガエルのオタマジャクシが皆さんのおいでを待っています。」

三浦職員・・・「炊飯場にピザ窯を作りたいと思っています。完成したらお知らせします」

伊藤職員・・・「園内の芝生や草地はキレイに刈ります。どうかよろしくお願いします」

最後に所長の島貫です・・・放射能のことではご心配をおかけいたしております。残念ながら山菜やキノコでの食のイベントは自粛しますが、他に楽しいイベントを企画中です。是非お楽しみに！」



カブトムシの紙芝居



イモリ捕り



来館の方やこもれびの森ウッドランドクラブ

●4月22日(日) 野鳥観察会

森林科学館前の県道を歩きながら野鳥観察会を行いました。とても寒い日でしたが総勢20名、鳴き声を聴いたり、双眼鏡を手に野鳥の姿を見ました。

●5月19日(土) 春の山野草観察&山菜を食べる会

春の山野草観察を行いました。山菜は買ってきたもので

●6月6日(水) 栗原市大目小学校5,6年生10名来館。森の話、イモリ

捕り、クラフト体験をしました。引率の先生も楽しんでいましたよ。

●6月9日(土) カブトムシの飼い方講座

甲虫ビオトープでは幼虫を見つけ、飼い方の勉強もしました。

●6月10日 しま所長は県森林インストラクター3名と国立花山青少年自然の家で行われた塩釜第一小学校5年生49名の総合学習の出前授業を行いました。小川では水生生物を見つけ、又森の中では野鳥や植物を観察し楽しい一日でした。

今年も池の淵の木にモリアオガエルが産卵しました。葉や枝をたぐり寄せて泡のハンモック。



大目小学校の皆さん

園内の竹垣はボロボロになっていて気になっていました。竹材は坊の蔵さんから分けていただきました。古い竹は全部取り除き新しい竹と交換しました。県民の森ボランティアの壺井さんと職員で完成しました。

カブトムシの幼虫・・・こどもたちは大好きです。幼虫棲めるよう腐菌床(キノコのホダ木が使用済でボロボロになったモノ)を積み重ねておきます(甲虫ビオトープ)。幼虫は県民の森ボランティアの小山さんがわざわざ仙台から届けてくれました。腐菌床は中條さんから提供。楽しいイベントも皆さんからご支援をいただいてやれます。



完成した竹垣

(今後のウッドランドクラブ) 7~8月分

★7月28日(土) 川遊び & 自然観察とテイクキャンプ

★8月13日(月) 親子昆虫観察とネイチャークラフト